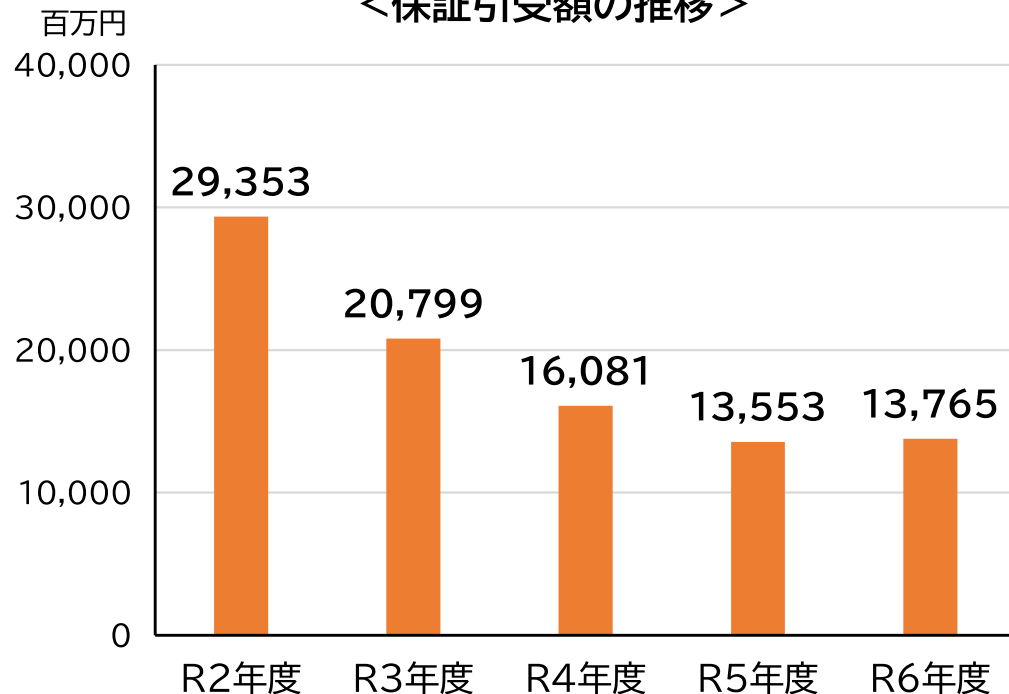


令和6年度の林業信用保証実績の概況について

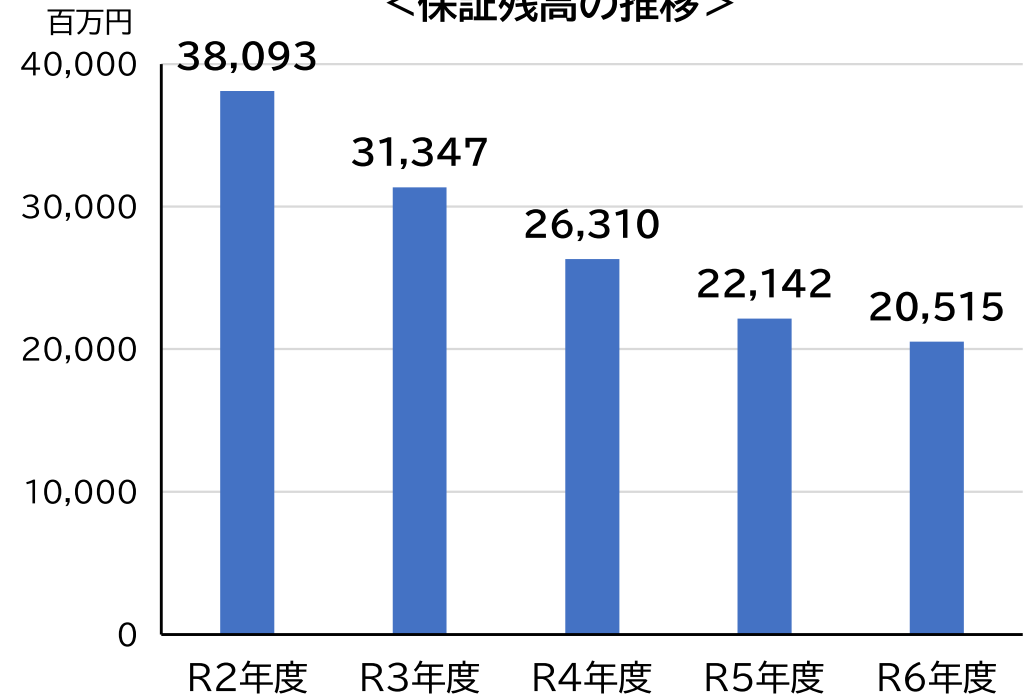
1 保証引受

- 令和6年度の保証引受は、138億円(前年度比101.6%)であり、減少傾向から微増に転じた。
- 保証引受額が微増した一方で、保証残高は減少しており、資金繰りが改善した被保証者による償還が進んだことが主要因と考えられる。
- 今後も、資金を必要とする林業者等に、適切に信用保証サービスが提供できるよう、融資機関との意見交換や勉強会の実施といった連携強化等を通じた制度普及に部門一体となって取り組む。

<保証引受額の推移>

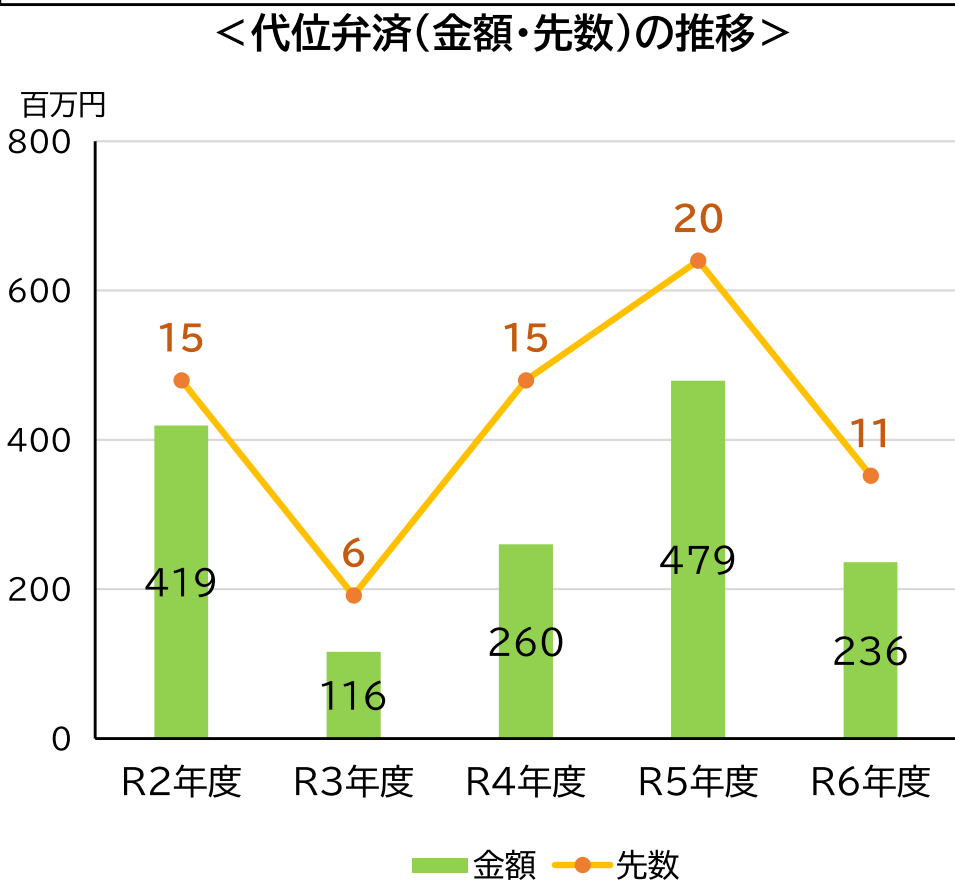


<保証残高の推移>



2 代位弁済

- 令和6年度の代位弁済は、236百万円(前年度比49.3%)、先数は11先(前年度比55.0%)となった。
- 代位弁済は減少したものの、日銀短観の業況判断(木材・木製品の中小企業DI)ではマイナスが続いており、燃料費高騰、価格転嫁が進まないなどの理由により、経営不振となって資金繰りが悪化している事業者は潜在的に相当数存在するものと考えられる。
- ゼロゼロ融資返済開始のピークは越えたものの、木材・木製品の倒産件数は微増傾向にあること等から、今後の動向を注視するとともに、期中管理等を適切に行い、林業者等が事業継続できるよう、融資機関と連携し、条件変更等に柔軟に対応していく。



<代位弁済事由の内訳> (単位:先)

	経営不振	うち コロナ要因	人手不足	経営者の 死亡等	偶発的 要因	その他	合計
R5年度	12	7	1	2	3	2	20
R6年度	9	4	0	1	0	1	11

<中小企業の業況判断指数(DI)の推移>

	令和6年			令和7年
	6月	9月	12月	3月
全産業	7	8	10	10
木材・木製品	▲10	▲16	▲13	▲8

注:1 日銀短観(日本銀行の全国企業短期経済観測調査)より作成
2 DIとは、「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものである。

<倒産の状況> (単位:件)

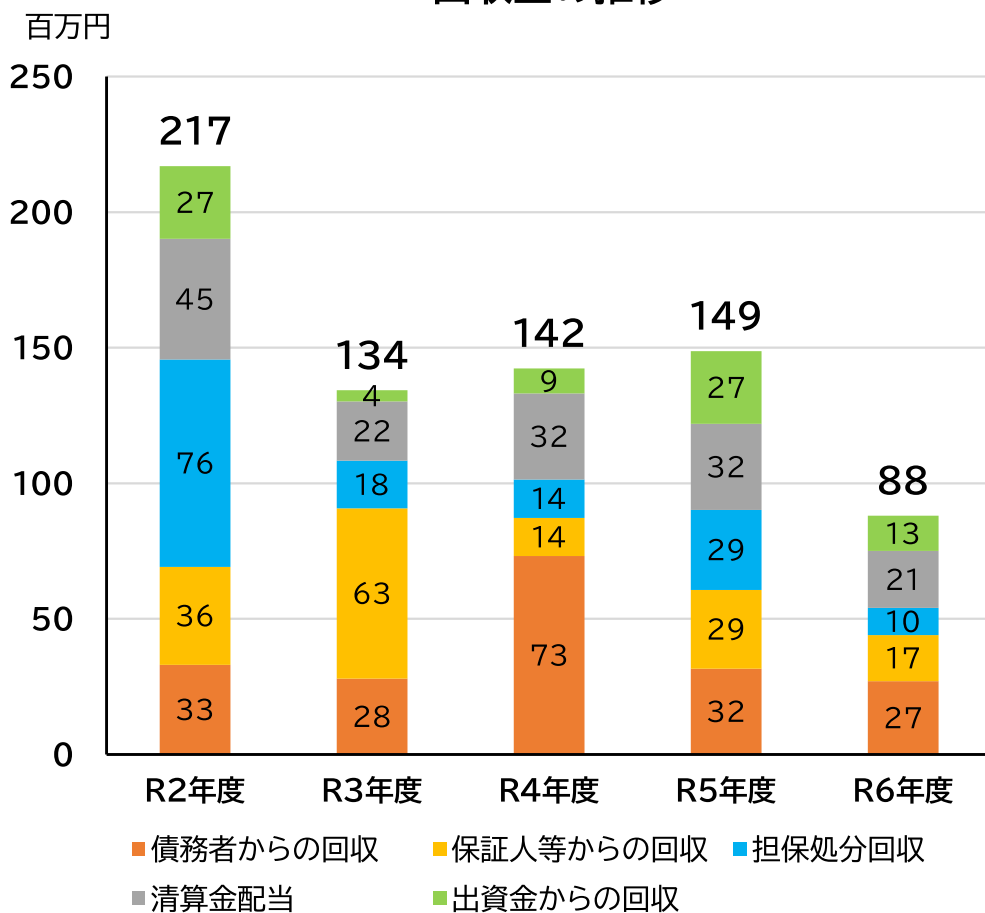
	令和6年			令和7年
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
全企業	2,612	2,483	2,592	2,457
木材・木製品	8	8	7	9

注: 株式会社東京商工リサーチ「倒産月報」より作成

3 回収金

- 令和6年度の回収金は88百万円(前年度比59.1%)であり、令和6年度に大幅に代位弁済額が減少したことが大きな要因と考えられる。
- 近年の回収金の内訳は、年度によって回収元に大きなばらつきが見られる。

<回収金の推移>



<求償権残高・先数の推移>

